



皆で力をあわせての鏡開き

# 2018年旗開き いろいろな思いを一つに 今年も 運動を発展させよう



5年連続増勢目指してガンバロー

## 西多摩 扉開くのは羽村から 50周年を3800人で

【西多摩・書記・濱徹通信】1月14日、羽村ゆとろぎで西多摩支部の新春旗ひらきを行いました。山口委員長は昨年発足した

全建総連東京都連多摩西北地区協議会にふれ、「地元の建設労働組合・支部7団体で公契約の運動を進めていきたいと思います。当面立川市での実現を目指しているが、地元の羽村市が最初でもかまわない。2019年は支部50周年となるので、5年連続の増勢をして3800人で迎えたい」と挨拶。来賓の並木羽村市長からは「西多摩支部と行政との連絡は密に取らせていただいている。先ほど山口委員長から立川からという話があったが、羽村から扉を開かないといけないのではないかと」とのお言葉をいただきました。

来賓は他に自由民主党、あきる野市議会志清会、都民ファーストの会、公明党、日本共産党、東京・生活者ネットワーク、羽村市議会新しい風、羽村市議会世論、東京土建本部、各支部、諸団体など44人、全体で147人の参加でした。アトラクションの後、福引きと団結カンパローを行ないお開きとなりました。

## 門出祝い意志固める 多摩・稲城 事業所分会も参加

【多摩・稲城・書記・鈴木寛次通信員】1月13日に多摩・稲城支部の新春旗開きを行いました。京王プラザホテル多摩に来賓・組合員と家族を含め110人以上が集まり、2018年の門出を祝い、支部の発展と組合活動を成功させようという意思を固めました。



振袖さんのお酌を受け笑顔に

【荒川・書記・金史樹記】1月14日に日暮里のランクウツドホテルにて、荒川支部の新春旗開きが110人(組合員・家族・来賓含む)の参加で開催されました。憲法9条の改憲阻止と、仕事確保の運動が前進する年に、この川又委員長挨拶の後、3人の「振袖さん」がお酌に回り、お酌を受ける組合員の笑顔、教宣部が会場を走り回り写真に納めていました。抽選会では、1等に当選した葛飾支部の益子副委員長の計らいで、じゃんけん大会も行なわれ、荒川支部の組合員へ福が回りました。楽しい時間も東の間、五箇谷副委員長の締め挨拶と団結カンパローで、大きな前進を勝ち取る年にすることを誓って閉会となりました。

## 台東 3年連続の増勢 胸張って誇れること

1月20日、不忍池の側にある東天紅で、台東支部の新春冒頭、遠藤秀明委員長は、設計労務単価が政策的に引き上げられているにもかかわらず、賃金・単価の引き上げが進まない厳しい現状で私たちは淘汰(とうた)されずに、越えていかなければならないとした上で「組合員の皆さんの協力で3年連続組織増勢できたのは、36支部の中でも胸を張って誇れること」とあいさつしました。



ベリーダンスを堪能 (台東)

2部では5人の女性による情熱的なベリーダンスを堪能した後、お楽しみの福引き。1等タイソンのハンディー掃除機の当選番号が読み上げられると歓声が上がりました。最後は全員で団結カンパローを三唱し、終了しました。

## 港 運動で組織回復を 要求実現に向けて訴え

【港・書記・御崎誠人通信員】港支部は1月19日、乃木會館にて、旗ひらき(新春のつどい)を開催し、来賓48人と組合員・家族38人、合計86人が参加しました。開会挨拶で小宮文雄委員長は、年初心数を大きく減らしてしまっことを踏まえ、「建設キャリアアップシステム」への対応説明や「けん共済」など組合加入のメリットをたずね、事業所訪問等の取り組みを強化し、着実な1300人支部の回復を目指すことを訴えました。武井港区長からは、みなと区民まつりや住宅Pの活動について評価と激励をいただきました。歓談の中では支部役員を中

心に、都議には建設国保に対する都費補助確保のお礼と一層の支援を訴えました。また区議に対しては公契約要綱の条例化や住宅リフォーム助成制度の創設をお願いするなど、建設労働者を守り、区内建設業者の仕事確保、区民要求実現に向けた訴えを行なうことができました。



国分寺第1分会が抱負発表

## 小金井 来賓が多数参加 地域の繋がりを強化して

【小金井国分寺・書記・小嶋和俊通信員】今年の支部旗開きを1月18日、国分寺ホテルで行ないました。鯉淵委員長の挨拶から始まり、鏡開き、歓談、2部の来賓挨拶へと移りました。その後、各分会と女性の会、シニアの会から、今年の抱負を発表してもらい、お楽しみ抽選会では、皆さん一喜一憂しながら盛り上がり、南書記長のまとめで閉会しました。国分寺の井澤邦夫市長をはりをもっと強化していきます。